

ハスの実をまぐ

社会福祉法人
ハスの実の家
4月号

2018年・NO.455

〒910-4103 福井県あわら市三国3726-3
TEL (0776) 78-6743 FAX (0776) 78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com

ときめきを ありがとう!



主な記事

- 2★すぐ60
- 3★なかまのページ 住友のみのいえひなまつり
- 4~5★特集記事: 2018年度事業計画会議2、17
ハスの実はこれからどうなるの?
- 6★仲間を支えあってきたあゆみ
- 7★「職員」のページ-東- 昂佑 丸山 知枝
- 8★交差点 ☆人・ヒト・ひと
- 9★わだしたちつながっています
- 10★ムーブ
- 11★物品深謝 ☆ご寄付深謝
☆退席のごあいさつ
- 12★おしらせ ☆あとがき



あくらむ



この三月で七一歳となりました。この間、福井大学定年後も地域のいろいろな活動に関わってきましたが、四月からは「ハスの実一本！」とし、職員の方さんと一緒に「実践カルテ（仲間の発達カルテ＋職員への支援カルテ＋法人の財政カルテ）」の整備に本格的に取り組み、合わせて、家族会・後援会の皆さんとも一緒に「地域づくり」に取り組んでいきたいと考えています。また、理事長個人としても後援会・賛助会の会員拡大に努めていきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

この冬には、「ほほえみみ外交」に始まり「メダルラッシュ」に終わった平昌オリンピックがあり、多くの場面で感動しながらも、いろいろ考えさせられました。まずは「ほほえみみ外交」のことです。「一言ではいえない難しい問題で、「なぜ」一つの民族が分断されることになったのか？」という背景の理解なくして容易には発言できない問題だと感じています。近代以降（明治維新以降）、欧米列強がアジアにどのように進出しようとしたか、それに日本がどのように絡んだか、どのような経緯の末に終戦（敗戦）を迎えたか、どのような力関係で朝鮮半島が分断され、なぜ朝鮮戦争が起こり、どのようにして現在の「休戦」に至っているのか、という一連の流れを総合的に理解することによってはじめて、「日本がどうすべきか？」「私たちがどうすべきか？」という道筋も見えてくるのではないかと思っています。定年の頃から、私が勝手に唱えているテーマが「脱西欧・脱アメリカ・北歐に学びアジアを見直す」ということなのですが、途中を省いて結論を急げば、「南北朝鮮の障害者問題に取り組む人々との交流を通して互いを理解

しリスペクトし合える関係をつくる」こと、ここに私たちが追求できるテーマがあるのではないかと考えています。

続いて「メダルラッシュ」のことです。「メダルラッシュ」そのものは素晴らしいことですが、

互いにリスペクトし合える関係を！ —平昌オリンピックを通して考えたこと—

ハスの実の室理事長 櫻井康宏

私も興奮しながらテレビにかじりついていました。しかし、その後の報道や報道金の扱いがあまりにメダル取得者に偏っているように思いました。私自身は、どちらかといえば「勝負よりも記録」という考えであり、「世界新・日本新もさることながら「自己新」を出すこと（自らの

力を最大限に引き出してさらなる可能性を示すこと）を大いに評価したいと思っています。端的に言えば、平凡な記録でメダルが取れたこと（時の運）よりも、メダルは逃したけれど自己新をマークしたことの方を評価したいということです。このことは、「メダル取得者に報酬金」という発想以上に「いろいろな発達段階にある選手それぞれが「自己記録（発達の最近接領域）」に挑戦できるような環境整備や条件整備をする」という発想につながり、このことが結果的に日本記録や世界記録やメダルにつながるものと理解しています。最近の選手たちが「羨ましい」と語るのも、「メダルの重圧から別れて自分だけに向き合いたい」という気持ちの現れのように理解できますし、選手同士は年齢や国籍の違いを超えて、そういう「向き合う姿勢」を互いにリスペクトし合っているようにも理解できました。

リスペクトといえば、小平奈緒選手と李相花選手がリンクで見せてくれた姿が評判となりました。その小平選手は、信州大学スケート部の「技術討論会」で発表することを十年以上続けており、滑走時に意識したことを毎日メモに書き記した「技術カルテ」を基に、配布資料と映像でチームメイトに説明することです。そして「自分の頭の中を整理しながらスケート技術を言語化し、水と対話しながら技術的なものを積み上げてこられた」と話しています。この「スケート技術」を「支援技術」に、「水」を「仲間」に読み替えることによって、「支援技術を言語化し、仲間と対話しながら技術的なものを積み上げて「支援カルテ」を作成する」という地道なプロセスの重要性を改めて確認しておきたいと思えます。

はすのみ
7-10

2017
ねん
T

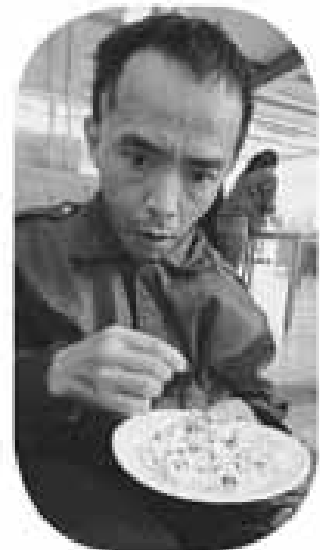
はすのみ ひなまつり のいえ



おはすのみ
のいえ
のいえ
のいえ



うさつぱり。
あまさけのんだいひなまつり
だのしんぞわ



あまさけと
ほつぷにーんで
ひなまつりを
だのしましだ
しんぞちて
つくせんよ!





ハスの実はこれからどうなるの？

ハスの実の家—変わるものと 変えてはならないもの

ハスの実の家はこれまでも、変えてはならないものを守るため変わってきました。変えてはならないものとは仲間の立場にたった支援の実践、仲間のねがいを叶えるという大きな目標、仲間が主人公であるという理念です。さらには仲間の発達を保障するという大きな理想です。今年度、国は3年ごとの障害者福祉サービスの報酬改定を行いました。既労継続事業などで障害のある仲間達の能力や成果をものさしとした体系（事業全体の継続発展に必要な基本額）に踏み込んできています。このことで市場原理が導入され、成果や能力により仲間への支援費が削られたり下がったりすることとなります。障害の重い人がかたみの狭い思いをしたり、否定され排除されかねないこうした制度の導入のなかハスの実の家には理想の追求においても経営面においても多くの課題があります。これらの課題を解決するためにハスの実の家は各事業の在り方を再編する計画を練ってきました。また「にやりホッと」の取り組みを定着させ仲間の笑顔や愛すべき横顔を発見し記録し発信していくことに力を注ぎます。

2018年度通所事業所の事業計画

本年度通所事業所ではつながる活動を通して「いるんなこと」をやる。作ったり感じたり、

仲間の願いを叶えるために飛び出していける活動集団になろう。仲間一人一人の出番づくりをしよう。仲間が活動しやすい、過ごしやすい環境づくりをしよう、と考えています。

例えばこんなことを考えてみました。わくわくセンターの仲間が畑に行って農耕班の仲間とつながろう。暖かい日差しの中で土いじりをしてみよう。みんなで作物を作って食べてみよう。野菜でスムージーを作ってみよう。おいしいのが出来たら売れないかな？お店をつくってハスの実スムージーを売ってみたい。チラシは紙漉きをして自分達で作った紙に書こう。地域の方にも喜んでほしい。等々、夢はどんどんふくらみます。こうして実践の中から新しい活動の柱が出来るかも知れません。今までの活動に因われず何を残し、何を始めるかを決めていきます。「つくる、つながる、感じる」ことを発展させ仲間の豊かな楽しい生活を追求します。

2018年度 グループホームの事業計画

未だ制度的不備の多いグループホームの運営は、いつそうの支援力、実践力の向上と安定的な経営課題の達成という、時として相反する大きな二つの課題（矛盾）に向かい合わなければなりません。このためにユニットホームは事業の類型を変更して複数ホームの一体的運営に向けて試行錯誤してゆきます。具体的には「日中



2018年度 事業計画会議3.17

サービス支援型グループホーム”の制度を、決して入所施設への後退にはさせない強い問題意識と実践を持って挑み活用することで、予算を確保し、重度、高齢の仲間たちの豊かな暮らしの場を構築してゆきます。またその人らしい暮らしを実現するため個と集団の関係をとらえホームの再編成を試行錯誤してゆきます。こうして財政面、運営面で継続可能な事業への転換をはかってゆきます。

2018年度 地域生活支援事業の事業計画

地域生活支援事業に取り組むにあたって私たちは障害者権利条約にうたう「他の者との平等」を基礎として国が方針とする「我が事、丸ごと地域共生社会」の問題点をふまえ、冷静に、しかし熱い思いを持って地域に根差した運動と実践を積み重ねてゆきたいと思えます。

相談支援事業所「ハスの実」 （対象者91人）地域生活支援

発達保障理論と日々の実践をつなげ、利用者、家族、事業所等の聞き取りから本人像を捉えサービス等利用計画や個別支援計画に活かしてゆきます。相談支援専門員の人材育成をはかるとともにサービス管理責任者との連携など複数体制の配置で支援チームをつくりきます。

家族会・後援会との連携と協働を強化し仲間と共に地域の福祉力を高めてゆきます。

居宅介護事業「ハスの実」 ヘルパーステーションともじ

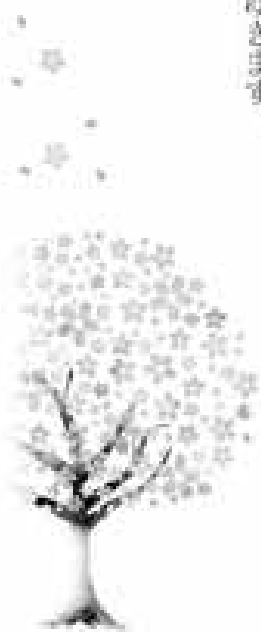
人材確保、人材育成、人材定着をはかり、常時登録ヘルパーを増やし利用者ニーズに柔軟に対応できるようにしてゆきます。

ヘルパー業務は出先での支援が多く外部からも見られています。一人で瞬時の判断や対応を求められるため支援スキル、社会スキルを学習し支援力の向上をはかります。

短期入所（単独型）

ショートステイ事業

ショートステイの利用目的は緊急時利用、将来を見据えた家族以外の生活経験、自立生活、アパートでの独り暮らし、などがあります。利用目的を整理して地域のニーズに対応できているのか調査します。現状では業務対応が限界であり他の事業所と連携して地域ニーズに添えてゆきます。



～仲間を支えあってきた あゆみ～

第5回

林 祐賢



ちり紙交換の車を見なくなって、どれくらの時が経ったのだろうか。町にはブックオフやリサイクルショップがあり、最近では「メルカリ」が大はやりだという。廃品回収の収益が、自治体の補助金制度になって、社会的価値観も変化して来たのだろうか。ハスの実の家では創立からずっと廃品回収を続けて来た。現在もその取り組みは続いている。

無認可時代は、リヤカーとハイエースで町の中を盛んに回っていた。リヤカーで回れたのは、近くに廃品の間屋さんの「山形」があったからだ。日に何度も通える距離だった事も大きい。リヤカーにいっぱいになると「山形」に持って行って、また次の所へ回収に行くこともできた。リヤカーで回っていると、「うちのも持って行って」と声をかけてもらうことも多かった。ハイエースは、福井の市街地や鯖江市など遠くの回収に活躍した。家族の多くは、近所の廃品を集めて置いてくれて持っていてくれた。その量は、ハイエースで何回も往復しなくてはならないぐらいの頻り様だった。

廃品回収は、ハスの実の家にとって幾つもの大きな役割を持っていた。当時は、「山形」へ運ぶとその都度精算し、伝票と現金を得ることが出来た。財政的にも日々現金収入があることは大きかった。仲間たちにとつても、社会や地域の人と触れ合う機会を広げることができた。そのふれあいは、寄付やハスの実の会会員へつながっていった。仲間たちにとつて古本の中の絵本や、古着など活用出来る物も楽しみの一つとなっていた。



現在の廃品回収は、段ボールや雑誌、空き缶が主であり、その収益は仲間の作業工賃として還元されている。無認可時代の廃品は、ノートやドリルの表紙を取り外し、上質紙として取りわけたり、空き瓶も透明瓶・茶瓶・緑瓶などに分けて、瓶の間屋さんに運んだ。古着も再利用出来る物とウエスにするものに分け、ウエスも納める会社によって大きさを変えていた。金属は一〇センチの電線も大切に集めていた。これらは廃品を提供して下さる方々の気持ちを大切にして、ハスの実の家の努力で最大限の活かし方につなげるといった信頼関係も広げて来た。ハスの実の家と廃品回収ではなく、障害を持つ仲間たちと社会のつながりの中に、ハスの実の家が取り組む廃品回収の役割を思い、これからも頑張っていきたい。

職員のページ

【所属】 ハスの実の家 生活介護事業
主任 東 昂佑



～心豊かな仕事～

昨年の春、生活介護事業所の主任を担うことになり、戸惑いながらも何とか1年間やり遂げることが出来ました。9年目の今年度、生活介護の活動・実践が発展するように力を発揮したいと思います。

仕事を通して、ハスの実の家を利用している仲間たちだけではなく、その家族、学校の先生や生徒、地域の方々など多くの人との交流を持つことができました。仕事を通して、そういった方々と話し合い、共感したり、一緒に学ぶ機会を経験できる仕事は他にはなかなか無いのではないかと思います。また、そういった経験が出来る環境の中で、私は人の心の温かさや豊かさ…などに触れることが出来たことで、私の心や感情もが豊かになってきていると感じています。そこが福祉の魅力であり、私の仕事に対するモチベーションにも繋がっています。



【所属】 就労継続支援B型事業 わくわくワーク
職業指導員 丸山 知枝



美味しいお菓子と笑顔をお届けします!!

食品加工班（菓子工房）の丸山です。ハスの実の家と出会って8年になります。

班では毎日美味しいクッキーやマカロン、ドーナツなど作っています。「毎日お菓子を作って楽しそう!!いいな～」と言われますが一日中立てて動いての作業。生地を仕込む（混ぜる）のも力がたくさん必要です。重い物も持たなくてははいけません。とても大変ですが食品加工班の仲間が頑張っている姿を見ると私も頑張らなくては!!と元気をもらいます。仲間と一緒に作ったクッキーやマカロンを持って販売に行くとお客様が「美味しい」と言って買って下さるのを見ると嬉しくなります。また、毎週水曜日のショップでは仲間みんなが楽しみに買い物に来てくれます。「クッキーある?」「今日は何がいい?」といつもは接することの少ない生活介護の仲間と話が出来ることがショップです。仲間のたくさんの笑顔でたくさんの元気をもらっています。これからもお菓子を通してたくさんの人に笑顔と元気を仲間と一緒に届けていきたいと思っています。

交差点 後援会

ハスの実の会総会

4月8日、後援会の総会を開き、平成30年度の役員および活動方針を決定しました。今年度は、フラワーアレンジメント等の活動を継続して会員拡大を図るとともに、後援会、家族の方々と職員の方々が協力して作り上げるイベントを開催し、つながりを強固なものにしていきたいと考えています。



平成30年度役員（敬省略）

会 長	堀田 照子			
副 会 長	野坂れい子、家族会			
運営委員長	山東 孝子			
事務局 長	瀧江 美沙			
	部 長	副部長	部 員	
全 面 部	内田悠美子	齊藤 道広	南 美由紀 瀧永 尚子 林 尚子 直江 美沙	石井 千草 高宮 麻佑 堅達 知子
組 織 部	十位近さおり	伊藤 新一		
事 業 部	川崎百乃布	大久保知枝	齊藤 輝美	齊藤奈生美
広 報 部	有房 諒栄	—		
会 計	鹿島 温子			
監 事	木下 一見、村田 文彦			

フラワーアレンジメントミニバザー・陶器市開催

3月3日、恒例となったフラワーアレンジメント教室とミニバザー・陶器市を同時開催しました。ミニバザーは継続的な開催により収益をあげており、開催方法や規模などを工夫していきます。



人・ヒト・ひと 後援会員のご紹介

 あわら市 納村 亮さん(元・嶺北親の会 会長)にお聞きしました。

Q1 ハスの実の家との出会いは？

S 43年生まれのK女は今年、もう50歳になります。半世紀の良く頑張ったものだと思う。地元の学校に行けるものと信じていましたが出来たばかりの福井南養護学校へ入学しました。南養護学校ではすでに親の会として「南苑会」があり活発に活動しており研修行事で花堂の「ハスの実の家」へ訪問したのが始まりだと思います。この頃「ハスの実」さんは移転先を探してご苦労されていて福井市や鯖江市の候補地がまとまらず苦しい時代だったと思います。それから数年後「あわらへ来る事が決まった!!」と朗報が届きました。三国町のK氏、地元のK県議の活躍があったから話がまとまったと聞きました。本当に良かったと思いました。あわらの障害者福祉が良くなるだろうと大きく期待したものです。自分自身、理事を2期4年務めました。「嶺北親の会」や他の団体の事もあり退任しました。

Q2 ハスの実で何か印象に残った出来事

「ハスの実の家」の保護者が熱心に活動して「バザー」を大々的に実施し、高校生の応援、地元有志のボランティアの熱心な協力があって大いに賑やかに行われていましたが今の時代、バザーなど人気落ちて開催は考えものだと思います。それより利用者のみなさんが、あわらの家が我が家の如く落ち着いて安心して暮らしている様子が見えて嬉しく思っています。

Q3 最近気になっていること

職員さんの過労や待遇の改善がなかなか思うようにならない事。色々制度が変わって利用者の高齢化も目立ってきて65歳過ぎたらどちらの制度が適用されるのか・・高齢者や障害者が安心して暮らせる様な福祉施策を完璧なものに政府や国に作って欲しい。これは待っていても出来て来ない。全国から声を挙げて行動しなければ政府や役所は動いて貰えないと思います。今、ハスの実の「第2期中期将来構想」の冊子を見えています。関係者みんなで今から「くらす」「はたらく」「ささえる」というスロガンに向かって頑張らしましょう。

ご意見・ご感想お待ちしております。

0776-78-6743 (ハスの実の家)

hasukouenkai@yahoo.co.jp



わたしたち防虫ネットでつながっています

今回は内職のお仕事を頂いているエイ・ジェイ・テックス(株)
竹澤志織さんにお話をききました。

① 出会いはいつですか？

弊社で販売している農業用防虫ネットのカタログに、商品のサンプル生地貼り付けをお願いしたことがきっかけです。膨大な量を作成しなくてはならず、お願いできる先がなかなか見つからなかった時にご協力を頂けるとのお返事を頂き大変助かりました。

② 印象に残っている出来事は？

丁寧かつスピーディーなお仕事が印象的で、頼りにさせて頂いています。

防虫ネットは弊社初の自社ブランド商品ですが、ハスの実さんにお手伝い頂いているサンプル生地の効果で、より多くの方に認知されるようになり順調に売り上げを伸ばすことが出来ています。

今後とも宜しくお願い致します。

③ 最近気になっている事など。

ハスの実パン工房さんが気になっています。20周年を迎えられたとのことで、大人気の味をぜひ一度味わってみたいです。弊社は大野市にあるため少し距離が離れていますが、時間を見つけてカフェでほっと一息つきたいなぁ~と思っています。



【写真例】トンネル掛け

エイ・ジェイ・テックス株式会社
AJ TEX. CORPORATION
〒912-0041 福井県大野市基築池 50-58
TEL:0779-66-1671 FAX:0779-66-1670
<http://www.ajtex.com>

継続会員・新入会員お名前

2・3月度

*印は新入会員です。順不同、敬称略。

- あわら市 興イマデ食品・細川治夫・木村鮮魚店・橋本都住・中村芳夫・松岡飛鳥・渡辺久*齊藤直美*竹内円江
- 福井市 興サブラ福井営業所・石黒弘基・落谷義行・前田祐樹・白谷祐夫・下田祥代・辻知代子・藤本裕美・村田文彦・富樫清明*佐々木麗乃*能美防災株式会社福井営業所・大門動物病院・松下圭介・崎崎次男*福井日産自動車株式会社*久保佑輔*北尾友和*森美奈代*福井ダイハツ販売株式会社
- 越前市 岡本美智枝・松原美佐子・長谷川スマ・宇野佐和子・森瀬敏満・山本原美・十佐近さおり・岡部政江・高嶋昌弘・神浦おかり・辻ゆり子・古川真澄・大草基江・石黒政子・水上聡子*辻みゆき*勘座春子・田島利之・鹿野 文男・吉江峯子・加藤剛・畑中貴子・浜内清隆・玉森一ノ・黒川清和・宮本明子・藤川幸子

- 鯖江市 西澤貴子・西澤祐光・橋本亜穂・竹内啓子
- 大野市 宮下真一
- 越前市 玉村義雄*川端ようこ
- 敦賀市 平川純子
- 東京都 林光二
- 神奈川県 野口直人
- 大阪府 亀田和子
- 富山県 *定塚登舞*川口宏
- 石川県 河地直人*日誌千草*濱口真弓
- 滋賀県 小林桂子
- 兵庫県 齊藤淳子・宮地俊輔・宮地絵里



どうなる 私たちの暮らし!? ~2018年度報酬改定から読む!!~

4月から3年に一度の障害福祉サービス等の報酬改定が実施されていることは、みなさんご存知ですか？

今回は報酬改定について、少しでもわかりやすくポイントをあげながらお話をしていきます。

報酬改定では次の3つのポイントがあげられています。

ポイント①

能力・成果主義の強化による報酬の選別

ポイント②

我が事・丸ごとの具体化の開始

ポイント③

営利本位で参入してくる事業所
拡大の手立てがなされていない

①については、就労支援事業が大きく関わってくると思います。「成果主義」という名の通り、能力や成果を重視して利益を生むということ。となると、働ける人（は）「ほとんどん受け入れますよ……」となり、つまり、障害の重い人たちが、がんばって働きたい！と思っても就労事業を利用することが難しくなるという事です。「働くことは権利」です。成果を求めするために働くことを奪っていいの、もう一度考えたいところです。

②については、「共生型サービス」とも言われています。現在問題になっている、65歳問題が解消されたかのように聞かれています。知らぬ間に「利用者負担あったの？」という魔法のようなことが起こっていることでもあります。

例えば、いつも通っている生活介護事業所。Aさんは今日65歳になりました。

昨日まで負担がなかったのに65歳になったから負担が課せられます！というものです。昨日と今日が変わってしまう。知らない間に障害福祉サービスから介護保険サービスに切り替わっていました。ということに、さらに働く側の職員の専門性も高く求められます。共生型サービスは子どもから高齢者まで丸ごと支援しますというもの。今までは、それぞれの分野での専門性について学習を行ってきましたが、これからは、児童も高齢者も障害者も学習し実践をしていかなければいけません。そんなスーパーマンのような人材は今はいないのでしょか。

③については、営利事業者が福祉事業所に参入できます。利益が見込める事業にみなさん参入してきます。しかし、報酬改定が行われ、報酬が低くなり、利益が見込めなくなるとあっさり撤退をしていきます。そこを潤用していた利用者を残したまま……。そんな無責任なことは決して許せません。人はお金もうけの道具ではありません。それを阻止する手立てがなされていないのです。

今回は簡単にお話をしましたが、深く掘り下げると、もっともつと驚くようなことが出てきます。「報酬改定があったらで終わるのではなく、「報酬改定があつてどうなった？」まで話をしていきたいのです。そして「あたりまえに働きえらべる暮らし」を大切にしていきたいましよう。



第41次きょうされん国会請願署名・募金活動

署名数	目標	13,300筆	現在	9,211筆 (達成率 69%)
募金額	目標	324,400円	現在	213,683円 (達成率 66%)

ハスの実の家ではなかまたちと一緒に月に1度街頭署名にでかけています。“寒いのがんばるの～” “なんの署名や？”と声をかけてくださる地域の方々。署名の数といっしょに地域の方々とお会いする・話せる機会が増えていっている今日この頃です★国会請願まで残り1カ月！ 目標に向かってみんなでラストスパート！！

後援会のみなさんへ ～署名・募金活動にご協力をお願いいたします!!～

より多くの方にこの署名活動を通じて“だれもがすみやすい街づくり”を考えていただける機会になればと思いますので、もう一度署名用紙を送付させていただきます。署名用紙に住所と名前をご記入いただき、返信用封筒にて、ポストに投函ください。ご協力よろしくお願いたします。

組織・地域づくり委員会

物品深謝

2・3月

順不同お許しください

表及美様、黒川清和様、菅原亜希子様、仁愛大学様、
明治安田生命保険相互会社 福井支社様、
福井セルフ様、山崎勝様、伊藤新一様

ご寄付深謝

2・3月

順不同お許しください

ハスの実の家
川端登代様、米っこクラブ様、伊藤順治様、
ハスの実の会（後援会）様、
ハスの実の家家族会様 2,878,144 円

ハスの実の会（後援会）
亀田和子様、菊座春子様、齊藤淳子様、
村田文彦様、山本照美様、三国後援会様、匿名様、
60,000 円

退職のごあいさつ



田中 洋行

このたび、ハスの実の家を退職させていただきました。厳しい福祉情勢の中、踏ん張りどころの中、申し訳なく思います。

この30年間、実にいろいろ多種多様なことを学ばせていただき、助けていただき、感謝しています。

職員ではなくなる今後、さまざまな形で関わっていきたいと思っています。

なので、また必ずお会いすることがあるかと思っています。

そのときはよろしくお願ひします。



奈須田 潮

小児専門の理学療法士時代に、おつき合いした子供達や、ご家族とのご縁で、ハスの実の家の仲間達の“体づくり”のお手伝いを2007年4月より、毎週火曜日に10年間させていただきました。この10年を振り返るとディズニーランドや能登島水族館等々、いろんな所と一緒に出かけたと、今は亡き仲間達とのこと等を思い出します。ハスの実の家に通うことは私の密かな楽しみでした。仲間達、仲間達を支える職員さんありがとうございました。

スタッフ急募!

障害のある仲間たちへの
支援をするお仕事です。

◎「ヘルパーステーション ともに」(あわら市二面)

募集人数 ①ホームヘルパー 3名(パート)
②移動支援 余暇支援スタッフ3名(パート)
障害のある方や高齢者の在宅での様々な支援サービスです。
◆①②7:00~21:00の間で相談 朝だけ夕方だけ可
時給 1,030円 土日勤務手当 通勤手当
資格 ①ホームヘルパー2級以上

◎生活支援スタッフ

①あわら市二面
②あわら市上番・大溝 三国町米ヶ盛
③あわら市市姫
募集人数 5名
グループホームでの生活支援をするお仕事です。
(食事準備、入浴・就寝支援、衣類支援ほか)
◆①②16:00~10:00 (③9:30)
(夜間支援) 週2日程度
② 16:00~9:00
(宿直支援) 週2日程度
①①1勤務 15,360円以上
② 1勤務 9,770円以上 他通勤手当
資格 ホームヘルパー2級あればなお良し

◎送迎車運転スタッフ(あわら市二面)

募集人数 若干名
◆7:00~9:00 15:30~17:30
時給 900円~
中型免許以上 就業日数は2~5日で相談可

◎生活介護事業(あわら市二面)

募集人数 ①作業療法士(臨時職員) 1名
◆9:00~16:00(休憩45分)
休日は施設カレンダーによる
①時給 1,300円~ 通勤手当

◎学生アルバイト(18歳以上)

⇒福祉・保育・医療等を学ぶ学生さん優遇
日中支援 生活支援 夜間支援 外出支援
時給 1,000円~(勤務時間変動に対応します)

平成31年度 新規学卒者職員募集(正規職員) (高校、短大、専門学校、大学)

◇生活支援員(グループホーム生活支援 日中活動支援等)
若干名



TEL 0776-78-6743(担当:具谷、橋本)

社会福祉法人 ハスの実の家
〒910-4103 あわら市二面87号26番2
E-mail honbu@hasunominoie.com

ハスの実より あじがき



記録的大雪が降ったかと思えば、急に春の
陽気になり、気候の変化に体調がついていか
ない方も多いのではないのでしょうか?
すでに新年度も始まり、新しい環境や生活
がはじまりソツソツしたりバタバタしたりの
方も多いと思います。
何にしても健康第一、体が元氣なら心も元
氣でいられると思います。自分のことを労わ
れるのは自分しかいないので決して無理せず
進んで下さい。
気合いを入れて頑張ることも悪くないです
が、目を柔しみを忘れないことと、ちゃんと
休憩を取ること、エネルギー切れにならない
ちよつとすつでも進んで行けると思っています。
途切れてしまつては積み重ねた頑張りも振
り出した戻つてしまつてしまうので、頑張り過ぎず
ちよつとすつ。

村田 達也

社会福祉法人
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: alphasunomi@hasunominoie.com
 - *「ハッピー」
〒910-4134 福井県あわら市上番 40-12-4
電話・FAX (0776)77-7282
 - *「すまいる」
〒919-0621 福井県あわら市市姫 3丁目 14-2
電話・FAX (0776)73-2444
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ盛1丁目4-3
電話・FAX (0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 3丁目 15-17 102
電話・FAX (0776)73-3129
 - *「はさだ」
〒919-0621 福井県あわら市市姫 3丁目 14-1
電話 (0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援 B 型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話 (0776)78-7750 FAX (0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫 1丁目 608-2
電話 (0776)73-7300 FAX (0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 相談支援事業所「ハスの実」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話 (0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
携帯 090 - 8965 - 2347
Eメール: hasusoudan@hasunominoie.com
- 居宅介護事業
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話 (0776)78-6743 FAX(0776)78-6744

★こちらを読み取って
ハスの実FBに
アクセスしてね!!

